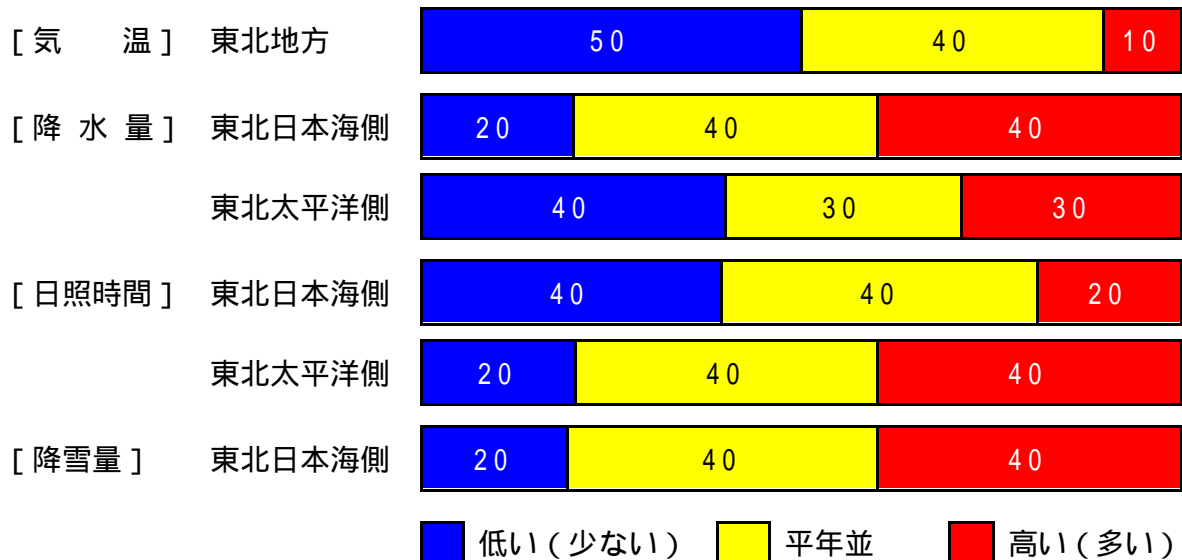


東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：2 月 10 日～3 月 9 日）

平成 13 年 2 月 9 日 仙台管区気象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率（％）



[気 温]: 東北地方は「低い」の可能性が大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「平年並」でその確率は 40％です。「高い」の可能性は 10％と小さい。

[降 水 量]: 東北日本海側は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

東北太平洋側は「少ない」の可能性が大きく、その確率は 40％です。「平年並」と「多い」の確率はそれぞれ 30％です。

[日照時間]: 東北日本海側は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

東北太平洋側は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

[降 雪 量]: 東北日本海側は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

2．予想される天候の特徴

(もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。)

向こう1か月

東北地方は、冬型の気圧配置となるでしょう。特に期間の前半は強い寒気が南下し、気温の低い状態が続くでしょう。

東北日本海側では平年に比べ雪の日が多く、東北太平洋側では平年に同様晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

向こう28日間の晴れ日数：東北日本海側約8日、東北太平洋側約18日

各予報期間の天候の特徴

1週目…………… 冬型の気圧配置の日が多く、強い寒気が入るでしょう。東北日本海側では雪の日が多く、東北太平洋側では沿岸部を中心に概ね晴れるでしょう。

平均気温は低いでしょう。

平年の晴れ日数：東北日本海側約2日、東北太平洋側約5日

2週目…………… 冬型の気圧配置の日が多く、強い寒気が入るでしょう。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

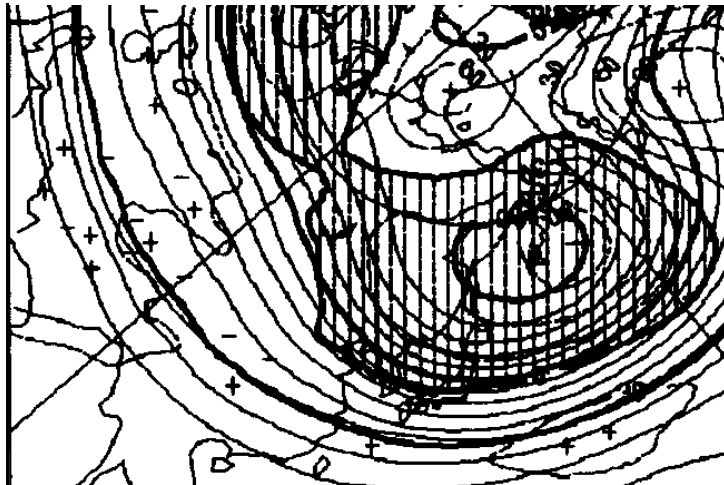
平年の晴れ日数：東北日本海側約2日、東北太平洋側約4日

3～4週目…………… 冬型の気圧配置の日が多いでしょう。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並の見込みです。

平年の晴れ日数：東北日本海側約5日、東北太平洋側約9日

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



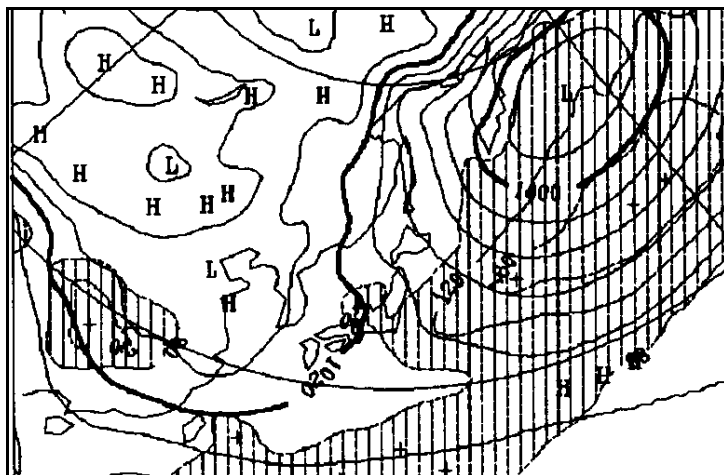
月平均の 500hPa 高度・偏差
（等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差）

・500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、関東以北はカムチャッカ半島付近に中心をもつ負偏差に覆われる。

このため寒気が南下しやすく、冬型の気圧配置になりやすい。

週別（図略）では、1 週目、2 週目は月平均とほぼ同様。3～4 週目も北日本は負偏差だが、程度はやや弱まる。

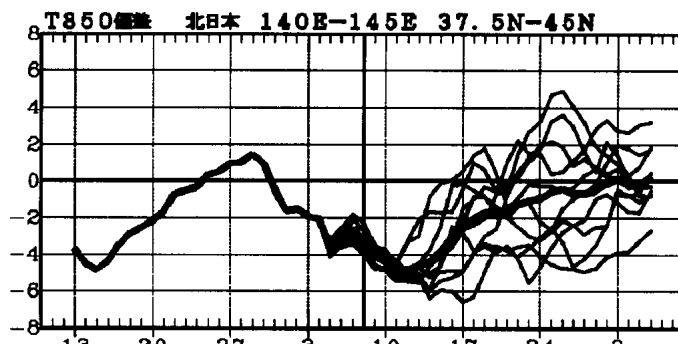


月平均の地上気圧と降水量
（等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上）

・地上気圧と降水量

月平均で見ると、中国大陸に高気圧があり、ベーリング海では低気圧が発達して、日本付近は冬型の気圧配置となっている。日本付近は北陸付近による降水域がみられるほかは、まとまった降水域はかからない。

週別（図略）でも冬型の気圧配置が続き、本州南岸はまとまった降水はかからず、南岸低気圧による影響は少ない見込み。



北日本 850hPa の気温平年差の実況と予想

（縦軸：気温平年差（ $^{\circ}\text{C}$ ） 横軸：日付）

発表日以降の太線は各アンサンブルメンバー（細線）の平均値

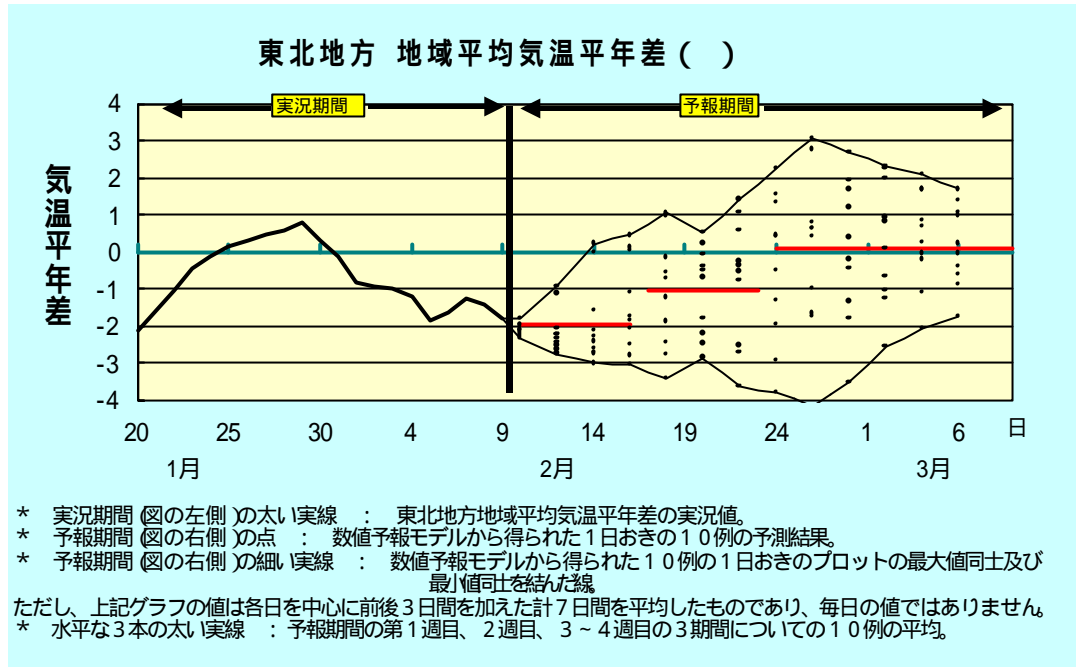
・北日本 850hPa 気温平年差の時系列

アンサンブルメンバーの平均は、1 週目に最も低く、その後期末にかけて平年並に近づくものの期間を通して平年より低い。

2 週目からはばらつきが大きくなる

3．東北地方地域平均気温平年差の実況と予測結果

週別の気温は、1 週目「低い」、2 週目「低い」、3～4 週目「平年並」を予測している。なお、後半はアンサンブルメンバーのばらつきは大きく、高温を予想するメンバーもあり信頼度は小さい。

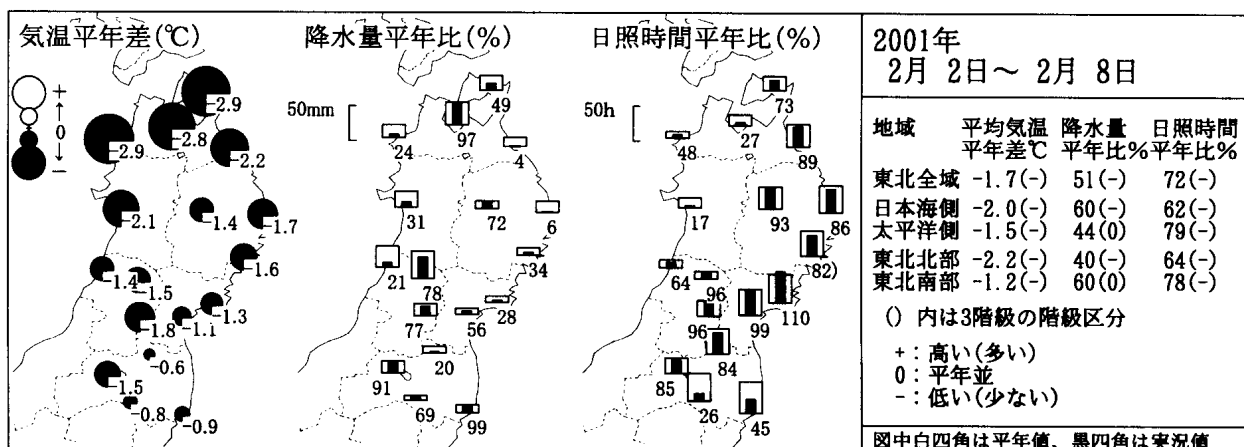


4．最近1週間(2月2日～2月8日)の天候の経過

2～4日は、冬型の気圧配置が続いた。東北日本海側は雪の日が続いたが、東北太平洋側は3日に雪の所が多かった他は概ね晴れた。

5～8日は次々に気圧の谷が通過した。東北日本海側は曇りの日が続いたが、東北太平洋側は、7～8日に南部で雪となった他は概ね晴れた。

平均気温は、東北地方で平年差-1.7 と低かった。降水量は、東北北部で平年比40%と少なく、東北南部で平年比60%と平年並。日照時間は、東北地方で平年比72%と少なかった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)